

令和 6 年度

大阪大学

一般選抜（前期日程）

解答例又は出題の意図

ドイツ語

令和 6 年度個別学力検査等(前期日程)
「ドイツ語」(外国語学部) 解答例・出題の意図

I 【出題の意図】

文の構造を理解し、文脈を読んだ上で適切な和訳を導き出せるかを問う問題である。

① umso+比較級、je+比較級が何を言おうとしているのか、Urlaub、Praktika、Berufstätigkeit のような一連の語の関係性がわかるか、また、最後のソーシャルネットワークを用いたバーチャルな接触について訳出できるかを問うている。

② 現在分詞 faszinierend を訳出できるか、分離動詞 darstellen の訳語が適切か、現在分詞 herausströmend が訳出できるか、verschiedener Laute を属格と認識して訳出できるかを問うている。また、最後の文は従属の接続詞 damit を理解しているか、imstande sein が訳出できるか、von Aussprachenunterschieden zu abstrahieren を訳出できるか、または動詞 abstrahieren が既知の語彙でなくとも文脈から適切な訳を導き出せるかを問うている。

II 【出題の意図】

比較的長いドイツ語文の内容に関する設問を設定した。ドイツ語の読解力ならびに文脈の理解をはかると同時に、日本語で解答させることで、日本語の記述力を問うた。

III 【解答例】

- ① (Auch) wenn ich Zeit hätte, (würde) ich nicht nach Deutschland fahren.
- ② Kinder haben zu schweigen, wenn Erwachsene sprechen.
- ③ (Damit) habe ich gar nichts zu (tun).
- ④ Ich (bedanke) mich (bei) Ihnen für Ihren netten Brief.
- ⑤ Er hat das Buch geschenkt bekommen.
- ⑥ Das schwierige Problem ist nicht leicht zu lösen.

IV【出題の意図】

① 日常的な文章を正しく表現する能力があるかどうかを判断するための問題。訳文の文法構造が適切なものであるかということに加えて、それぞれの語句が的確に訳せているかどうか評価の主なポイントとなる。

② やや学術的な文章を正しく表現する能力があるかどうかを判断するための問題。訳文の文法構造が適切なものであるかということに加えて、それぞれの語句が的確に訳せているかどうか評価の主なポイントとなる。